

和歌山県の魅力

自分時間が充実、理想のワークライフバランス!

1. 充実した暮らし

都会と比べて、和歌山県は物価も家賃も安いので、趣味や遊びに使えるお金が充実します。若い時から、自由に使えるお金で、プライベート時間を充実させませんか?

	和歌山	全国	東京	大阪
①大学卒初任給	223,600円	225,400円	230,600円	227,600円
②25~29歳の平均月給	239,100円	231,110円	265,200円	258,400円
③家賃平均月額	41,094円	55,609円	80,918円	55,614円
④消費者物価地域差指数	99.4	100.0	104.5	99.8

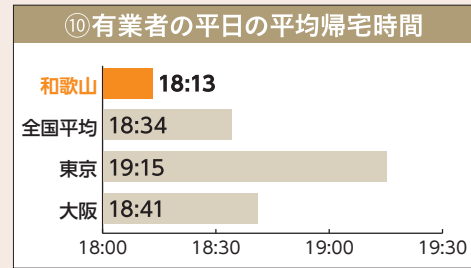
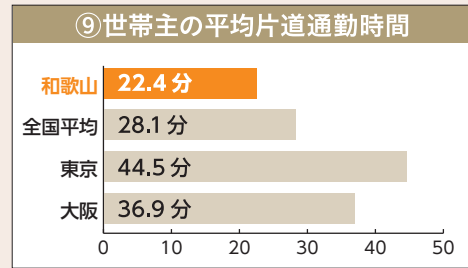
2. マイホームのある暮らし

和歌山県では、比較的安価で大きい家を建てることができます。大きな家でゆったりとした生活を過ごす人生を考えてみませんか?

	和歌山	全国	東京	大阪
⑤1㎡あたり住宅地平均価格	35,700円	53,372円	389,100円	152,200円
⑥土地付住宅建築費	3,972万円	4,456万円	6,105万円	4,881万円
⑦持ち家の延べ面積	124.4㎡	119.9㎡	93.3㎡	101.8㎡
⑧持ち家比率	73.0%	61.2%	45.0%	54.7%

3. 自分時間のある暮らし

和歌山県では、通勤時間が短く、帰宅時間も早いので、自分や家族との時間を多く持つことができます。早く帰ってワークライフバランスを充実させませんか?



出典 ①②R3賃金構造基本統計調査【企業規模10人以上・所定内給与額】(厚生労働省) ③⑦⑧⑨H30住宅・土地統計調査(総務省統計局) ④R3小売物価統計調査(総務省統計局) ⑤R4都道府県地価調査(国土交通省) ⑥R3フラット35利用者調査(住宅金融支援機構) ⑩R3社会生活基本調査(総務省統計局)



和歌山県職員採用情報



公式SNSでも情報発信中

採用説明会の開催情報、職種紹介などの情報をタイムリーにお届けします。



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

上記QRコードより最新の情報を確認いただけます。試験案内、申し込み方法、仕事内容の詳しい紹介、先輩職員のインタビューなど、情報が盛り沢山なので、ぜひチェックしてください。

問い合わせ先 和歌山県人事委員会事務局 TEL 073-441-3763 FAX 073-433-4085



県庁職場ガイド

和歌山県庁に訪問し、現役の県職員と直接お話いただくことができます。県の施策、仕事の魅力などをお伝えし、皆さんの県の仕事などに関する疑問や質問にもお答えします。

申込方法 上記QRコードよりお申し込みください。

対象者 和歌山県職員をめざしている方

受付期間 随時受け付けています。

訪問日時 申込み受付後、日程調整の上、メール等により連絡します。(土・日・祝日及び12/29~1/3を除く)

…………… **問い合わせ先** ……………

和歌山県総務部 人事課 人材育成班
TEL 073-441-2138 FAX 073-422-9312
✉ e0102001@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県職員の職種ガイド

和歌山が最高!だと子どもたちが思う未来を!

獣医師

あなたが和歌山県の未来をつくり、和歌山県はあなたの未来をささえる。



来たれ!!和歌山県の未来を担う獣医師

獣医師

獣医師の仕事は畜産と公衆衛生に分かれます。

畜産獣医師は、畜産農家の経営技術指導、特産畜産物のブランド化の振興、家畜伝染病等の発生予防と発生時のまん延防止の推進、畜産物の安全性確保及び生産性向上の推進、牛、豚及び鶏に関する試験研究や指導などの仕事をしています。勤務場所としては、本庁(和歌山市)、家畜保健衛生所(3か所)、畜産試験場(すさみ町)及び養鶏研究所(日高川町)になります。

公衆衛生獣医師は、県民の健康と生活環境を守るため、獣医師の専門業務である狂犬病予防、食肉検査の他に、動物愛護、食品衛生監視、旅館・公衆浴場・理・美容所など、いわゆる生活衛生施設の衛生監視、動物由来感染症及び食中毒に係る検査・調査研究など多岐に渡る仕事をしています。勤務場所としては、本庁(和歌山市)、各保健所(8か所)、動物愛護センター(紀美野町)及び環境衛生研究センター(和歌山市)になります。

キャリアパスモデル

主な役割 ※当モデルはあくまで一例です

20代
技術
副主査

公務員としての基本的な知識の習得、担当業務の確実な実行、収集した知識の担当業務への活用、課題解決への提案など

30代
主査

担当業務に対する効率化・改善、適正な進行管理、後輩職員への指導

40代
主任
班長

班・グループ内の担当業務に対する効率化・改善、適正な進行管理、マネジメント

50代
課長等

課の目標・成果の設定・政策決定、課員の評価・人材育成、職場環境づくり



「畜産:家畜伝染病と戦う」

家畜保健衛生所では、高病原性鳥インフルエンザや豚熱に代表される家畜伝染病発生予防のため、家畜伝染病予防法に基づく、畜産農家への飼養衛生管理基準遵守指導を実施しています。その際、農家現場において検査材料を採取し、所に持ち帰り必要な精密検査を行い、伝染病の発生を未然に防いでいます。また、家畜伝染病発生時には、伝染病のまん延防止のための防疫措置を迅速に実施することで、早期の終息に導き、その後の発生農家の経営安定に向けた指導につなげていきます。さらには、本県では民間の産業動物診療獣医師が極めて少ないため、家畜保健衛生所の獣医師が牛や豚の診療業務を担い、農家との密接な信頼関係を築いています。こういった取組により、家畜保健衛生所の獣医師は畜産農家の経営安定に欠かせない存在となっています。



「公衆衛生:不幸な猫をなくすプロジェクト」

和歌山県では平成28年から、地域猫対策の普及推進、飼い猫の所有者明示の推進、ボランティアとの協働による譲渡の促進の3つを柱とする「不幸な猫をなくすプロジェクト」事業に取り組んでいます。特に地域猫対策については、地域猫対策計画の認定(県の条例に規定)、不妊去勢手術費用の全額助成、地域住民とのコーディネートなどの支援を行うとともに、動物愛護センターでは職員による不妊去勢手術も行っています。



畜産

紀北家畜保健衛生所

安田 裕子 副主査

平成26年度採用

これまでの経歴

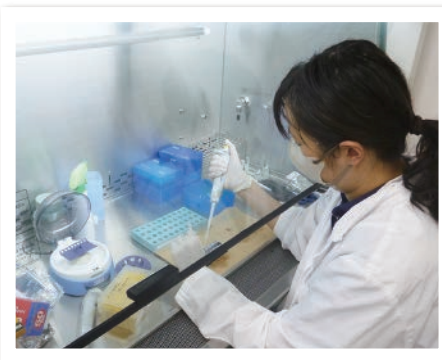
H26~H28年度 紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所
H29年度~ 紀北家畜保健衛生所

1日の流れ

9:00	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	13:30	16:45
出勤	移動	現場作業	移動	昼休憩	職場にて	検査室	退勤
・メールチェック、出張準備		・畜産農家指導、家畜診療			・片付け、出張事務処理	・ウイルス学的検査(細胞培養、抗体検査など)	

WORK 担当した仕事の内容・魅力

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防やまん延防止、畜産農家の生産性向上、畜産物の安全性確保のための業務に取り組んでいます。また、家畜診療や人工授精、受精卵移植、家畜の登録なども手掛け、振興施策や経営指導にも参画するなど総合的に地域に密着した業務を展開しています。私の属する病性鑑定課では、県内で家畜の伝染病が疑われる場合、迅速かつ的確な診断のために解剖、細菌、ウイルス、寄生虫、生化学および病理学的検査を実施しており、その中で私は鳥インフルエンザや豚熱をはじめとするウイルス学的検査を担当しています。自分の検査が診断に直結するためプレッシャーを強く感じることもありますが、その分やりがいがあります。また、農林水産省が主催する研修を、病性鑑定課に配属された年度は約7か月間、その後は毎年1週間受講し、他県の担当者と情報交換しながら、専門的な知識や技術の研鑽に努めています。



メッセージ

和歌山県では、女性獣医師の先輩方も多数活躍しており、福利厚生が充実した環境で仕事に取り組むことができます。私は、産前産後休暇、育児休業を過去に取得したことがあり、現在は育児時間休暇を毎日1時間(16:45~17:45)取得しています。仕事と育児の両立の難しさを感じることがありますが、職場の方々の理解や仕事を調整してくれる夫の献身的なサポートもあり、奮闘しながら両立をしています。

LIFE 私のわかやまライフ

共働きのため、子供達と平日あまり一緒にいられない分、休日は必ずと子供達と接するように心掛けています。子供達は家の中にずっといるとストレスが溜まるようなので、なるべく公園に連れていきます。体力が有り余っているため、親は平日以上に疲れが溜まります。連休の際は、私と夫の県外の実家に子供達を連れていき、祖父母と一緒に遊んでもらう、私と夫は少し休むようにしています。私と夫は和歌山県外の出身ですが、新しい土地で充実した毎日を過ごしています。

東牟婁振興局健康福祉部衛生環境課

流谷 博貴 副主査

令和3年度採用

これまでの経歴

R3年度~ 東牟婁振興局健康福祉部衛生環境課

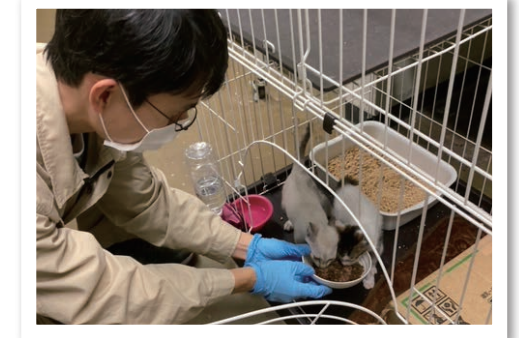
1日の流れ

9:00	11:00	11:30	12:00	13:00	14:00	16:00	17:45
現場	職場で	デスクワーク	昼休憩	職場で	現場で	職場で	退勤
・食肉検査	・帰所後メールチェック	・食肉検査済通知書作成		・来客対応	・食品営業許可施設現地調査	・許認可にかかる起案作成	

WORK 担当した仕事の内容・魅力

主に食肉検査、食品衛生及び動物愛護の業務を担当しています。食肉検査業務とは畜検査員として食肉処理場に赴き、1頭ごとに牛が病気にかかっているか、食用に適しているか否かについての検査及び衛生的に作業が実施されているか否かを監視・検証する業務を行っています。食品衛生監視業務は飲食店や食品製造業における食品営業の許認可、衛生指導、食中毒発生時の調査・処分の事務などを行っています。動物愛護業務は動物取扱業の登録、愛玩動物の適正飼養指導、地域猫対策に関する事務などを行っています。

公衆衛生獣医師の業務は、食肉検査、食品衛生、生活衛生及び動物愛護など多岐にわたり、大学で学んだ知識を基に幅広い業務を経験することができます。常に勉強が欠かせませんが、獣医師としての知識や技術を幅広い分野で発揮し、県民の皆様の健康や生活の向上に貢献できることにやりがいを感じています。



メッセージ

私は大学卒業後に他の自治体や民間企業で勤務していました。その際に時事問題や、自身の職種(獣医師)に関する事柄について、積極的に情報収集を行っていました。

県庁では色々な職種の方と一緒に業務を行うこととなります。自身の職種に関する事柄だけではなく、他職種の職員の方々が持つ多くの知識や情報に触れることで、自身の知識や考え方の幅を広げ、自分自身の成長にもつながることができて良かったと感じています。

LIFE 私のわかやまライフ

現在、家族と離れて生活をしているため、平日の終業後はビデオ通話で家族と会話したり、子供の成長を眺めて楽しんでいます。休日は自宅に帰り、子供と遊んで過ごすことが多いです。時には、家族と一緒に動物園や水族館、遊園地に出かけたり、買い物に出かけたりもしています。また、最近遠出はなかなか難しい状況ですが、元々旅行が好きなので、休暇を取り、家族で観光地巡りや食べ歩きなどを楽しんだりもしています。